

2017年3月15日

株式会社リクルート住まいカンパニー

2016年首都圏新築マンション契約者動向調査

～平均購入価格は2001年の調査開始以来最高額の5,081万円～

株式会社リクルート住まいカンパニー(本社：東京都中央区 代表取締役社長：野口孝広)では、新築分譲マンション市場の実態をつかむために、首都圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を2001年より毎年実施しております。この度、2016年に契約された方の動向を取りまとめました。時系列比較をしながら、概要をご報告いたします。

調査トピックス

1. 東京23区の購入割合は2015年から減少し、40%に (p3)

- ▶ 購入物件所在地は東京23区が40%で2015年から8ポイント減。以下神奈川県22%、東京都下14%、埼玉県12%、千葉県11%。

2. 平均購入価格は5,081万円で2001年の調査開始以来最高額 (p4)

- ▶ 千葉県を除くエリアで2015年から平均額が上昇し、調査開始以来最高額。特に埼玉県で上昇幅が大きい(536万円)。

3. 世帯主平均年齢は38.2歳で、2015年からやや若く (p5)

- ▶ 50代以上の割合が2015年からやや減少。ライフステージでは子供あり世帯が46%を占める。

4. 平均世帯総年収は900万円、既婚世帯の6割強が共働きに (p6)

- ▶ 世帯総年収1,000万円以上の世帯が徐々に増加、2016年は32%に。共働き世帯の比率は既婚世帯の63%を占め、第一子小学校入学前世帯でも半数を超える(55%)。

5. 自己資金は減少、平均ローン借入総額は4,286万円に増加 (p7)

- ▶ 自己資金の平均額は1,113万円で、2015年から257万円減少。ローン借入総額は平均4,286万円で2015年から292万円増加し、調査開始以来の最高額に。

6. 購入理由として「金利が低く買い時」が2015年から増加 (p8)

- ▶ 最も多い理由は「子供や家族のため家を持ちたい」で44%。「金利が低く買い時」は2015年から8ポイントの増加。

7. 「価格」「最寄り駅からの時間」「住戸の広さ」が物件選びの重視上位3項目 (p9)

8. 中古マンションとの並行検討者は全体の47% (p10)

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けていきます

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート住まいカンパニー 企画統括室統括部 カンパニー・コミュニケーショングループ
 メール：sumai_press@r.recruit.co.jp 電話：03-6835-5290

目次

1. 購入物件所在地	3
2. 購入価格	4
3. 契約世帯主の属性①	5
4. 契約世帯主の属性②	6
5. 自己資金とローン借入額	7
6. 住まいの購入理由	8
7. 重視項目	9
8. 検討住宅種別	10

調査概要

- **調査目的** 首都圏新築分譲マンション契約者の購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する
- **調査対象**
 - ▽ 2016年1月～2016年12月の首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)新築分譲マンション購入契約者
 - ※ 2016年1月～2016年12月の契約者の確認方法...回答票に契約書等(契約日・物件所在地が確認できる書類)コピーの添付を依頼(調査協力依頼①③の方のみ)
- **調査方法**
 - ▽ 協力依頼
 - ①首都圏各種メディアを通して調査対象者へ協力依頼
 - ↳ 電車内広告/SUUMO新築マンション/SUUMO(Web)/都心に住む/スーモカウンター/インターネット広告
 - ②マンション分譲会社での契約会などを通して調査対象者へ協力依頼
 - ③調査対象の入居済み新築マンションに、協力依頼書と調査票を投函
 - ▽ 調査票の送付 ①②は協力意向者に対して郵送にて送付、③は全戸に投函
 - ▽ 調査票の返送 郵送法
- **集計対象期間** 2016年1月～2016年12月
- **集計数** 計4,294件
 - ▽ 経年のデータについて…年によって調査方法や対象の物件種別は異なるが、各年とも新築マンション契約者のサンプルのみで集計している。また、基本的には調査開始以降全てのデータを掲載しているが、途中から調査するようになった設問もあるため、経年データの開始年は設問によって異なる。
 - ▽ 2003年～2006年は、全住宅購入契約者を対象とした調査(項目は全物件種共通)を一次調査、新築マンション契約者のみを対象とした調査を二次調査として実施。2007年からは一次・二次をまとめ、一括で実施。2009年4月からは調査対象を新築マンション契約者のみに限定して、調査を実施している。

調査	有効サンプル数	調査発表
2015年契約者	4,065件	2016年3月
2014年契約者	3,347件	2015年3月
2013年契約者	5,518件	2014年3月
2012年契約者	4,384件	2013年3月
2011年契約者	3,746件	2012年3月
2010年契約者	4,035件	2011年3月
2009年契約者	3,022件	2010年3月
2008年契約者	2,431件	2009年4月
2007年契約者	2,847件	2008年4月
2006年契約者	3,536件 (うち二次調査: 2,793件)	2007年3月
2005年契約者	2,439件 (うち二次調査: 1,726件)	2006年4月
2004年契約者	3,743件 (うち二次調査: 2,501件)	2005年6月
2003年契約者	4,616件 (うち二次調査: 3,189件)	2004年5月
2002年契約者	5,873件	2003年6月
2001年契約者	6,919件	2002年4月

※調査データを引用する際は、「2016年首都圏新築マンション契約者動向調査(株式会社リクルート住まいカンパニー)」と明記をお願いいたします。

● 東京23区の購入割合は2015年から減少し、40%に

- ◇ 購入した物件の所在地では「東京23区」が最も多く40%。以下「神奈川県」22%、「東京都下」14%、「埼玉県」12%、「千葉県」11%と続く。
- ◇ 「東京23区」の割合は調査開始以来の最高値であった2015年から8ポイントの減少となった。
- ◇ ライフステージ別にみると、シングル世帯では「東京23区」の割合が全体に比べ高く、シングル男性世帯で5割を超え、シングル女性世帯では6割を超える。

■ 購入物件所在地(全体/単一回答)

		東京23区	東京都下	神奈川県	埼玉県	千葉県
● 凡例						
2016年契約者全体	(n=4294)	40.3		13.9	22.3	12.3
2015年契約者全体	(n=4065)	47.9		11.9	17.3	12.1
2014年契約者全体	(n=3347)	37.6	9.5	25.1	14.7	13.1
2013年契約者全体	(n=5518)	41.9		11.0	22.0	14.0
2012年契約者全体	(n=4384)	38.9	10.9	24.6	15.3	10.3
2011年契約者全体	(n=3746)	38.2	9.5	26.4	15.5	10.4
2010年契約者全体	(n=4035)	36.2	9.1	26.8	14.9	12.9
2009年契約者全体	(n=3022)	34.0	9.5	24.7	15.7	16.1
2008年契約者全体	(n=2429)	25.0	11.2	27.7	15.5	20.7
2007年契約者全体	(n=2845)	24.3	9.9	26.4	16.0	23.4
2006年契約者全体	(n=3536)	36.4	9.7	28.5	10.2	15.2
2005年契約者全体	(n=2439)	40.3		11.5	25.9	10.1
2004年契約者全体	(n=3743)	45.7		10.3	25.4	9.0
2003年契約者全体	(n=4616)	36.9		11.2	28.3	12.5
2002年契約者全体	(n=5869)	36.1		11.9	27.4	10.0
2001年契約者全体	(n=6919)	35.3		11.2	29.7	10.1
シングル世帯	(n= 472)	57.6			7.8	18.6
シングル男性世帯	(n= 224)	53.1		9.4	22.3	6.3
シングル女性世帯	(n= 248)	61.7			6.5	15.3
夫婦のみ世帯	(n=1402)	38.1		13.6	23.7	12.1
子供あり世帯	(n=1952)	36.4		16.1	22.5	13.4
シニアカップル世帯	(n= 199)	40.2		13.1	23.6	15.1

(単位:%)

※ライフステージ別の区分についてはp5参照。

※2008年のデータは、購入物件の所在エリアが東京都だが市区郡不明というサンプルが2サンプルあったため、それを除いた2429サンプルで集計している。
 ※2007年のデータは、購入物件の所在エリアが東京都だが市区郡不明というサンプルが2サンプルあったため、それを除いた2845サンプルで集計している。
 ※2002年のデータは、購入物件の所在エリア無回答が4サンプルがあったため、それを除いた5869サンプルで集計している。

● 平均購入価格は5,081万円で2001年の調査開始以来最高額

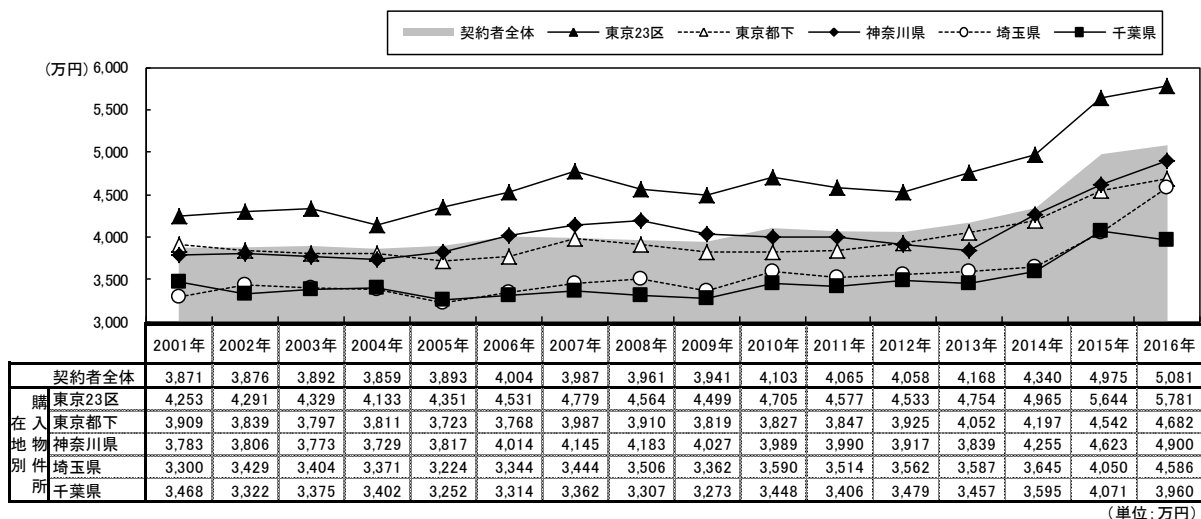
- ◇ 購入価格は「6,000万円以上」が23%、「5,000～6,000万円未満」が22%で、5,000万円以上で全体の45%を占める。平均購入価格は2015年から106万円上昇し、5,081万円と2001年の調査開始以来初めて5,000万円を超えた。
- ◇ 購入物件所在地別に平均購入価格の推移をみると、千葉県を除く地域で2015年から上昇し、調査開始以来の最高額となった。特に埼玉県で上昇幅が大きい（536万円）。

■ 購入価格(全体/実数回答)

●凡例	購入価格(万円)									平均 (万円)
	2500万円未満	2500～3000万円未満	3000～3500万円未満	3500～4000万円未満	4000～4500万円未満	4500～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000万円以上	無回答	
2016年契約者全体 (n=4294) 0.4	3.5	8.9	14.1	14.3	13.2	21.6	23.2	0.8	5,081	
2015年契約者全体 (n=4065) 0.7	5.1	9.5	12.1	15.3	15.5	19.6	21.4	0.8	4,975	
2014年契約者全体 (n=3347) 1.4	8.1	16.4	18.8	17.1	13.5	14.4	9.7	0.6	4,340	
2013年契約者全体 (n=5518) 2.0	10.9	19.1	20.9	15.2	11.6	12.2	7.2	0.8	4,168	
2012年契約者全体 (n=4384) 2.6	11.5	19.5	21.1	16.6	11.4	11.2	5.5	0.6	4,058	
2011年契約者全体 (n=3746) 3.3	11.9	18.1	23.1	15.3	10.8	10.9	6.1	0.6	4,065	
2010年契約者全体 (n=4035) 5.2	11.5	17.4	19.0	15.4	11.5	11.4	7.9	0.6	4,103	
2009年契約者全体 (n=3022) 7.1	14.2	18.3	18.1	14.7	10.2	10.8	5.8	1.0	3,941	
2008年契約者全体 (n=2431) 6.4	14.2	17.2	18.8	13.9	11.4	10.4	5.5	2.2	3,961	
2007年契約者全体 (n=2847) 6.0	13.8	19.2	19.6	12.9	9.6	11.6	6.0	1.3	3,987	
2006年契約者全体 (n=3536) 4.8	13.2	18.5	20.3	14.9	9.7	12.3	5.2	1.1	4,004	
2005年契約者全体 (n=2439) 4.9	15.4	22.1	19.8	13.4	8.9	9.0	5.3	1.2	3,893	
2004年契約者全体 (n=3743) 6.1	13.1	21.6	21.9	14.8	9.3	8.1	4.3	0.8	3,859	
2003年契約者全体 (n=4616) 5.7	13.8	20.5	21.9	15.2	9.1	8.5	4.6	0.8	3,892	
2002年契約者全体 (n=5873) 5.1	13.3	21.2	21.6	14.2	9.5	8.9	3.9	2.3	3,876	
2001年契約者全体 (n=6919) 4.7	14.3	21.4	21.4	15.3	9.4	7.8	4.2	1.4	3,871	

(単位: %)

■ 購入物件所在地別 平均購入価格の推移



(単位: 万円)

● 世帯主平均年齢は38.2歳で、2015年からやや若く

- ◇ 契約世帯の世帯主年齢は「30～34歳」が最も多く31%、以下「40代」(23%)、「35～39歳」(22%)と続く。平均年齢は38.2歳で、2015年からやや下降した。時系列でみると、50代以上の割合が2015年よりやや減少している。
- ◇ 契約者のライフステージでは「子供あり世帯計」が46%を占め、「夫婦のみ世帯」は33%、「シングル世帯計」は11%となっている。

■ 契約時世帯主年齢(全体/実数回答)

●凡例	契約時世帯主年齢(全体/実数回答)							平均(歳)
	20代	30～34歳	35～39歳	40代	50代	60歳以上	無回答	
2016年契約者全体 (n=4294)	12.8	30.7	21.9	22.8	7.1	4.3	0.4	38.2
2015年契約者全体 (n=4065)	12.6	28.8	22.1	21.4	9.0	5.8	0.3	39.0
2014年契約者全体 (n=3347)	12.5	29.6	25.0	22.2	7.9	2.5	0.2	37.8
2013年契約者全体 (n=5518)	12.4	28.9	24.1	22.8	7.1	4.4	0.3	38.3
2012年契約者全体 (n=4384)	15.1	30.5	23.7	20.7	6.7	3.0	0.3	37.4
2011年契約者全体 (n=3746)	14.0	31.0	25.1	20.2	6.0	3.4	0.4	37.3
2010年契約者全体 (n=4035)	16.6	33.1	24.0	19.7	4.9	1.5	0.2	36.2
2009年契約者全体 (n=3022)	17.8	36.5	23.8	16.8	3.8	1.0	0.2	35.4
2008年契約者全体 (n=2431)	17.6	37.0	22.5	16.9	4.2	1.6	0.2	35.6
2007年契約者全体 (n=2847)	18.7	33.9	23.5	16.9	5.0	1.7	0.4	35.9
2006年契約者全体 (n=3536)	17.8	35.2	24.3	16.1	4.7	1.7	0.2	35.7
2005年契約者全体 (n=2439)	17.9	34.5	21.7	19.2	4.9	1.5	0.2	36.0
2004年契約者全体 (n=3743)	17.5	34.1	23.7	17.9	4.9	1.9	0.2	36.0
2003年契約者全体 (n=4616)	16.3	32.5	24.2	18.8	5.8	2.3	0.2	36.6
2002年契約者全体 (n=5873)	15.4	31.4	24.3	19.0	6.9	2.8	0.2	37.1
2001年契約者全体 (n=6919)	15.8	30.5	24.6	19.1	6.9	2.8	0.3	37.1

(単位: %)

■ ライフステージ(全体/単一回答)

●凡例	ライフステージ(全体/単一回答)							シングル世帯計	子供あり世帯計
	シングル世帯		夫婦のみ世帯	子供あり世帯		シニアカップル世帯	その他・不明		
シングル男性世帯	シングル女性世帯	第一子小学校入学前世帯		第一子小学生以上世帯					
2016年契約者全体 (n=4294)	5.2	5.8	32.7	33.9	11.6	4.6	6.3	11.0	45.5
2015年契約者全体 (n=4065)	5.5	4.8	32.3	33.4	11.4	6.1	6.4	10.3	44.8
2014年契約者全体 (n=3347)	5.2	4.6	34.7	34.9	11.5	4.4	4.6	9.8	46.4
2013年契約者全体 (n=5518)	6.0	5.4	33.8	32.6	12.7	4.3	5.3	11.4	45.3
2012年契約者全体 (n=4384)	6.2	5.7	35.2	31.9	11.5	3.6	5.9	11.9	43.4
2011年契約者全体 (n=3746)	6.0	6.1	36.2	30.4	11.6	3.5	6.3	12.0	41.9
2010年契約者全体 (n=4035)	7.1	5.7	41.1	28.6	9.6	2.1	5.9	12.8	38.1
2009年契約者全体 (n=3022)	7.7	5.1	40.3	30.5	9.6	1.3	5.6	12.8	40.1
2008年契約者全体 (n=2431)	7.7	4.6	35.0	33.8	11.6	1.6	5.6	12.3	45.4
2007年契約者全体 (n=2847)	6.1	4.8	35.1	33.5	13.1	2.0	5.4	11.0	46.6
2006年契約者全体 (n=3536)	6.7	5.1	36.8	30.5	12.3	1.7	6.8	11.8	42.8
2005年契約者全体 (n=2439)	6.2	6.6	34.7	31.0	13.0	1.5	7.1	12.7	44.0
2004年契約者全体 (n=3743)	7.2	7.7	34.3	28.6	14.3	1.9	6.1	14.9	42.9
2003年契約者全体 (n=4616)	7.1	7.1	33.0	28.9	16.1	2.5	5.3	14.2	45.1
2002年契約者全体 (n=5873)	6.4	6.4	32.6	28.1	18.7	2.9	5.0	12.8	46.8
2001年契約者全体 (n=6919)	6.2	6.5	31.5	27.9	19.7	3.2	5.1	12.7	47.6

※「シニアカップル世帯」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯

(単位: %)

● 平均世帯総年収は900万円、既婚世帯の6割強が共働きに

- ◇ 契約世帯の総年収は「600～800万円未満」が最も多く24%。以下「800～1,000万円未満」(20%)、「1,200万円以上」(17%)と続く。平均は900万円。1,000万円以上の割合が徐々に増加する傾向にあり、2016年は2008年からほぼ倍増の32%となった。
- ◇ 契約世帯全体における共働き世帯の割合は55%。既婚世帯では63%で、さらに詳しくみると、夫婦のみ世帯では83%、子供あり世帯では52%。子供あり世帯の共働き比率は、2001年(25%)の2倍以上である。特に、第一子小学校入学前世帯で伸びが大きく、共働き比率は55%と、2001年の20%から30ポイント以上増加している。

■ 世帯総年収 (全体/実数回答)

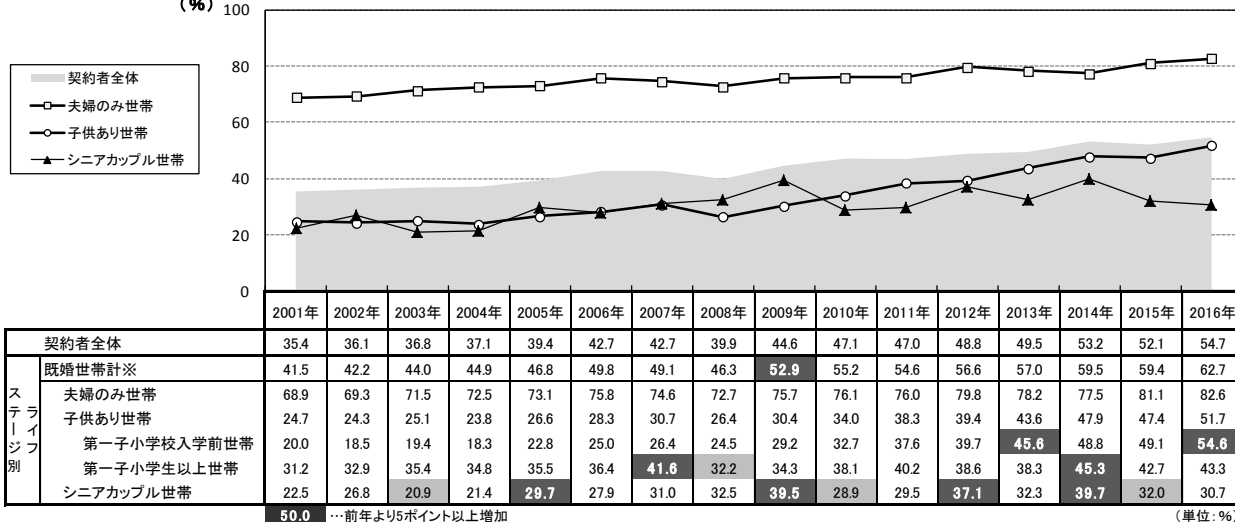
凡例	400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答	平均 (万円)
2016年契約者全体 (n=4294)	2.0	17.6	23.5	20.3	14.2	17.4	5.0	900
2015年契約者全体 (n=4065)	2.2	18.0	24.8	18.8	13.3	16.0	6.9	872
2014年契約者全体 (n=3347)	3.0	22.4	28.2	18.8	11.6	11.4	4.6	801
2013年契約者全体 (n=5518)	2.7	23.7	26.3	18.8	11.5	10.9	6.1	796
2012年契約者全体 (n=4384)	3.5	26.8	28.1	18.4	9.6	9.1	4.5	755
2011年契約者全体 (n=3746)	3.4	27.1	28.9	17.6	9.7	8.4	4.8	754
2010年契約者全体 (n=4035)	3.1	28.0	28.5	17.7	10.3	9.4	3.0	765
2009年契約者全体 (n=3022)	3.3	28.4	30.0	16.4	10.7	8.7	2.6	752
2008年契約者全体 (n=2431)	3.9	29.0	29.0	17.9	9.3	7.8	3.1	737

※実数回答形式での世帯総年収は2008年からの設問のため、2008年からのデータ掲載となっている。
 ※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込み年収はどのくらいですか?」と尋ねている。

(単位:%)

■ 共働き比率 (全体/単一回答)

(%)



(単位:%)

【参考】調査数	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
契約者全体	6,919	5,873	4,616	3,743	2,439	3,536	2,847	2,431	3,022	4,035	3,746	4,384	5,518	3,347	4,065	4,294
既婚世帯計※	5,692	4,829	3,717	2,957	1,957	2,876	2,382	1,995	2,468	3,282	3,059	3,606	4,598	2,863	3,383	3,553
夫婦のみ世帯	2,177	1,915	1,522	1,282	847	1,301	998	851	1,219	1,660	1,357	1,545	1,864	1,163	1,313	1,402
子供あり世帯	3,293	2,746	2,080	1,605	1,073	1,514	1,326	1,104	1,211	1,539	1,570	1,902	2,499	1,554	1,823	1,952
第一子小学校入学前世帯	1,928	1,648	1,335	1,071	755	1,080	953	821	922	1,153	1,137	1,397	1,800	1,168	1,359	1,455
第一子小学生以上世帯	1,365	1,098	745	534	318	434	373	283	289	386	433	505	699	386	464	497
シニアカップル世帯	222	168	115	70	37	61	58	40	38	83	132	159	235	146	247	199

(単位:人)

※共働き比率…雇用形態の設問に対し、世帯主・配偶者ともに下記①～⑥のいずれかに該当する者を「共働き」とした。

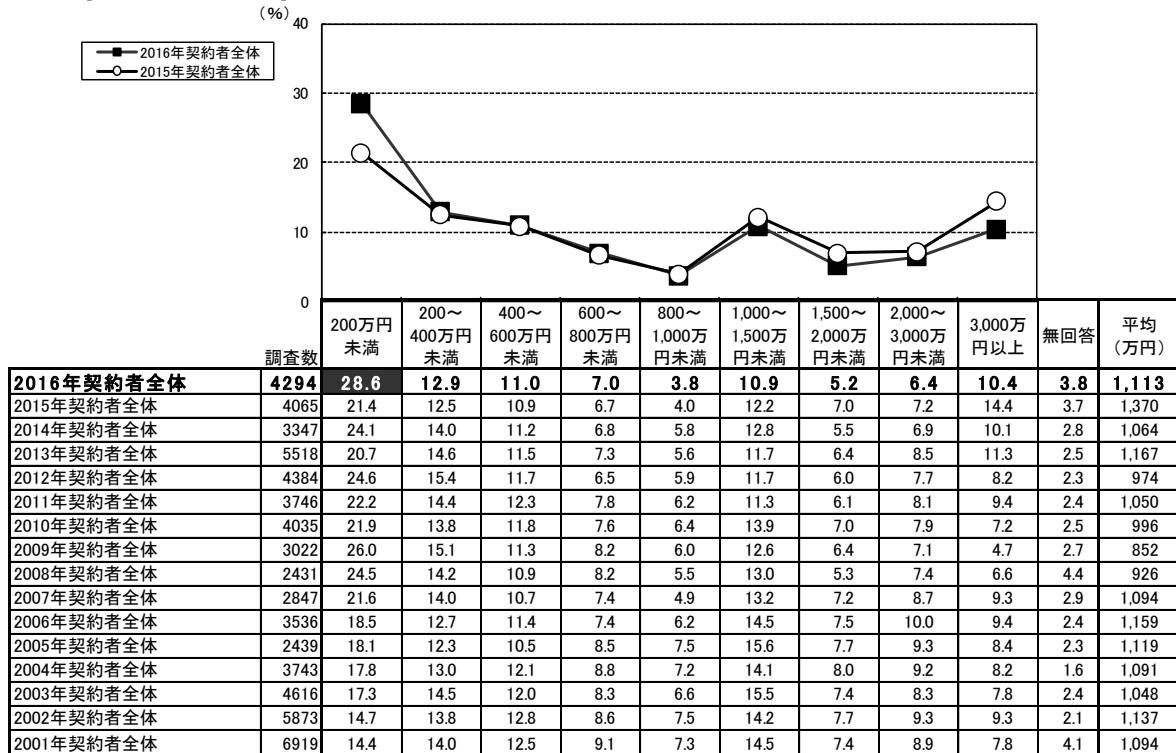
①正社員 ②契約社員 ③公務員・団体職員 ④自営業 ⑤医師・弁護士・税理士・会計士等 ⑥アルバイト・パート ⑦主婦 ⑧学生 ⑨無職 ⑩その他

※既婚世帯計…ライフステージの「シングル世帯」と「その他・不明」を除いたサンプルの合計

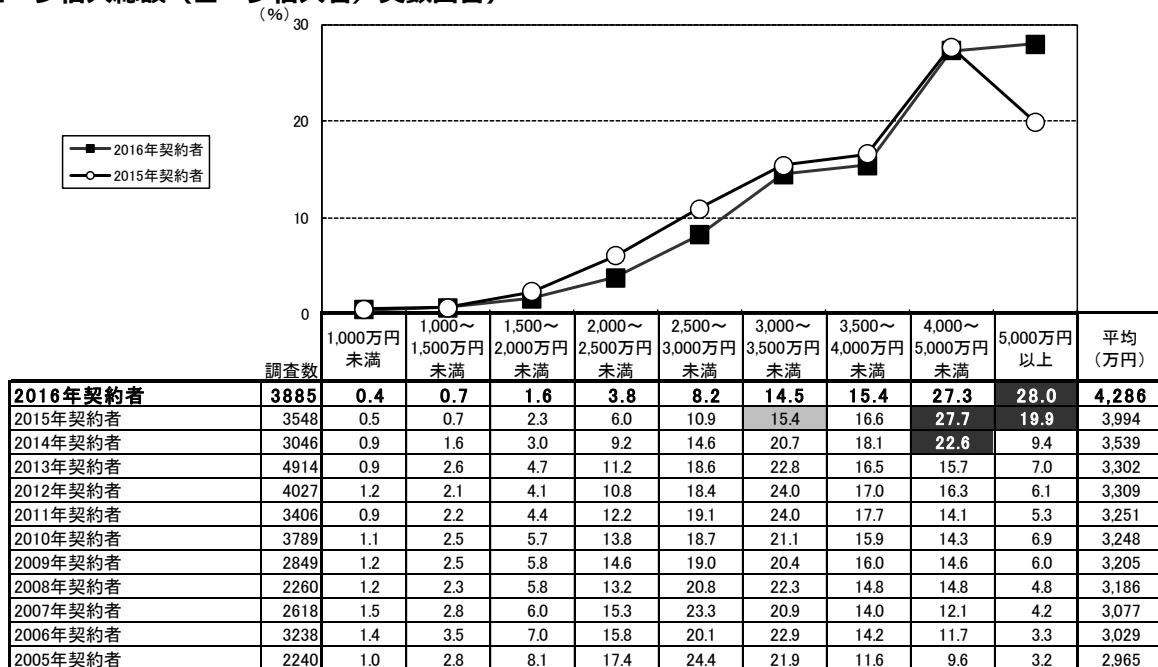
● 自己資金は減少、平均ローン借入総額は4,286万円に増加

- ◇ 自己資金は「200万円未満」が2015年から7ポイント増加し、29%を占めた。一方で1,000万円以上も33%となっている。平均は1,113万円で、2015年から257万円減少した。
- ◇ ローン借入者を対象に借入総額をみると、「5,000万円以上」が2015年から8ポイント増加し28%、ついで「4,000～5,000万円未満」が27%で、4,000万円以上で55%を占める。平均は4,286万円で2015年から292万円増加し、調査開始以来の最高額となった。

■ 自己資金(全体/実数回答)



■ ローン借入総額 (ローン借入者/実数回答)



※ローン借入者:ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者□

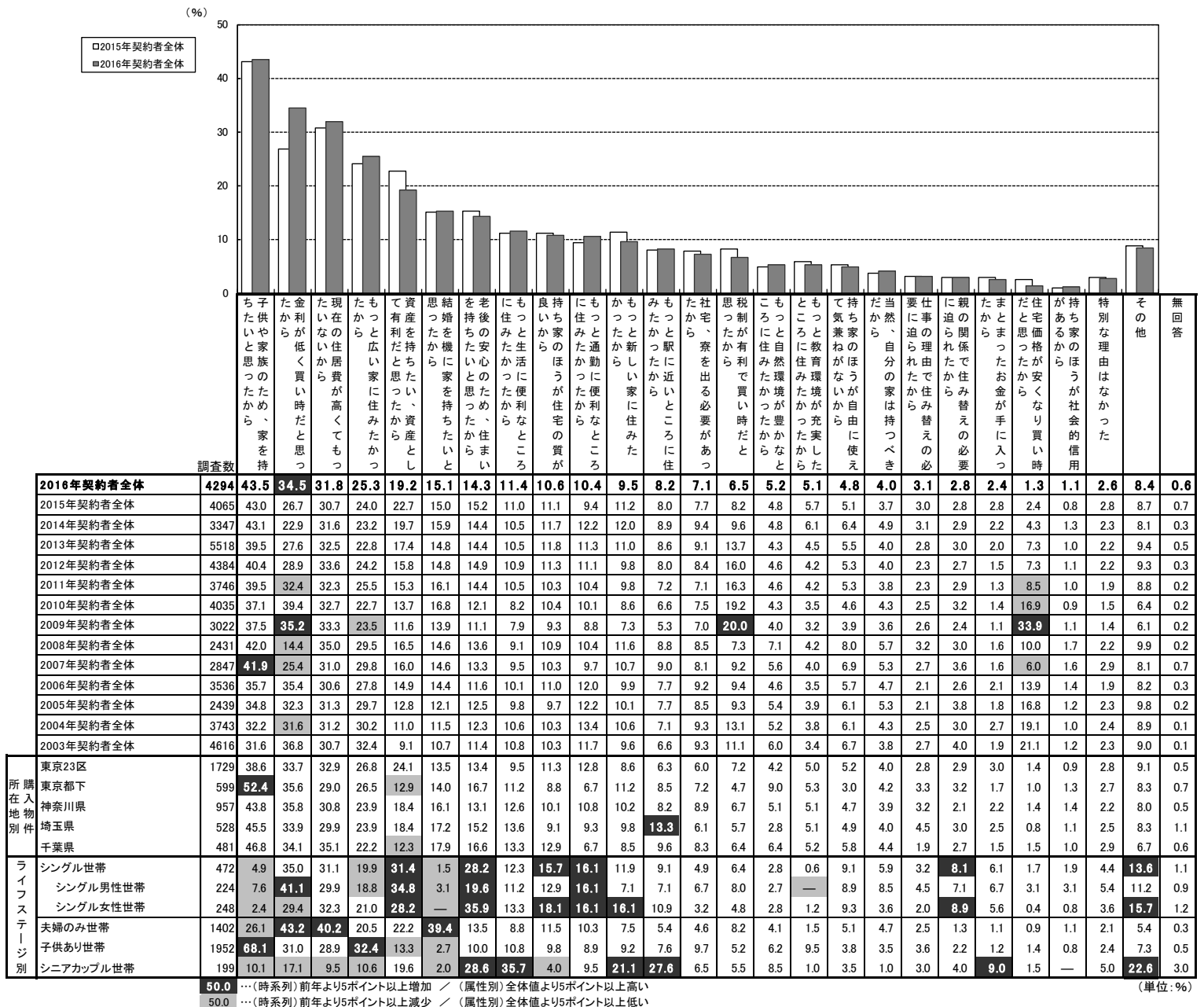
50.0 …前年より5ポイント以上増加

50.0 …前年より5ポイント以上減少

● 購入理由として「金利が低く買い時」が2015年から増加

- ◇ 住まいの購入を思い立った理由は、「子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから」が最も多く44%。以下「金利が低く買い時だと思ったから」(35%)、「現在の住居費が高くてもったいないから」(32%)と続く。
- ◇ 「金利が低く買い時だと思ったから」は2015年から8ポイント増加した。一方、「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」は4ポイントの減少となった。
- ◇ 購入物件所在地別にみると、東京都下では「子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから」、埼玉県では「もっと駅に近いところに住みたかったから」が全体に比べ高い。
- ◇ ライフステージ別にみると、「金利が低く買い時だと思ったから」はシングル男性世帯と夫婦のみ世帯で全体より高く、4割を超える。

■ 購入理由(全体/3つまでの限定回答)

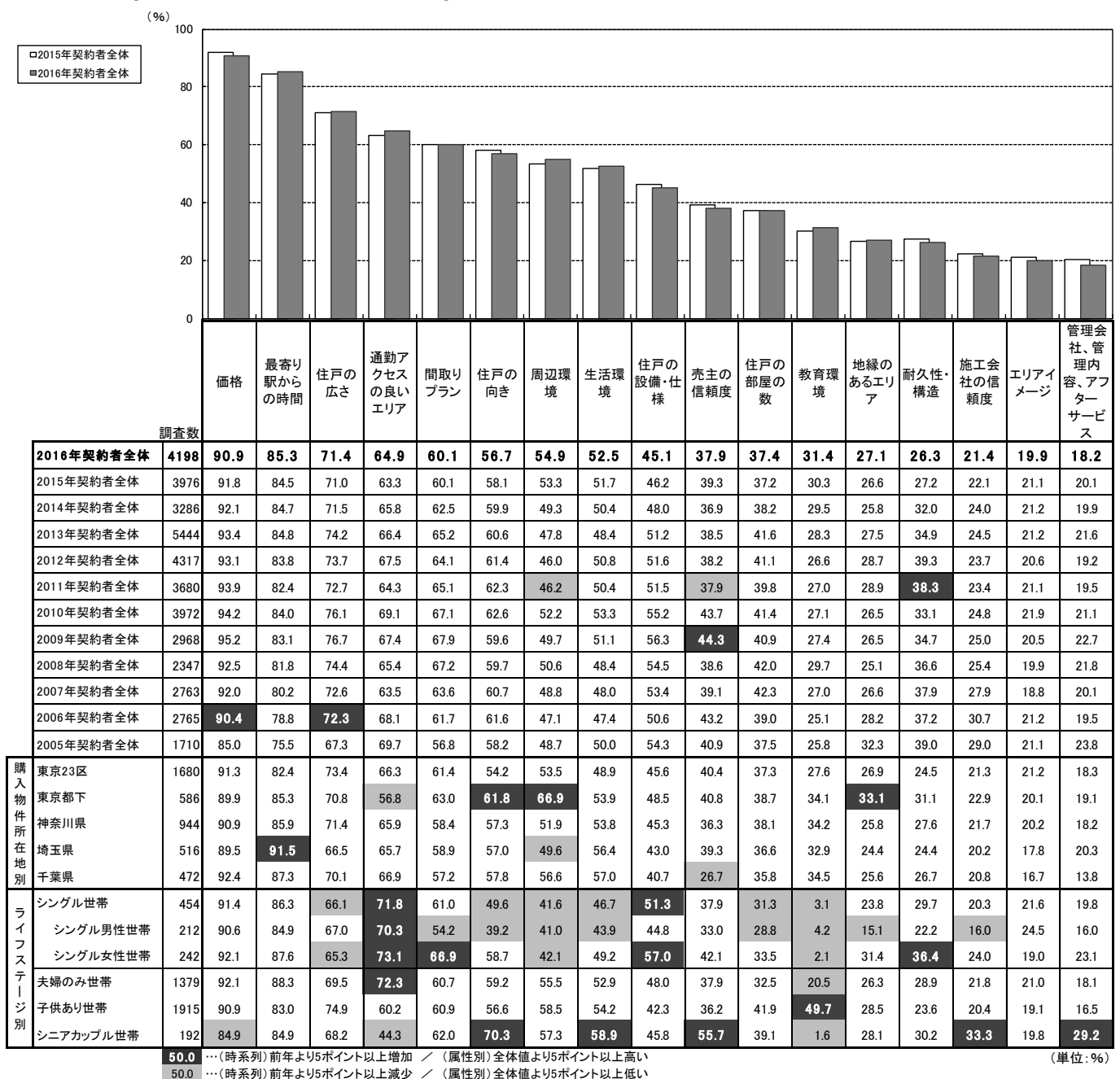


60.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い (単位:%)

●「価格」「最寄り駅からの時間」「住戸の広さ」が上位3項目

- ◇ 物件を検討するうえで重視した項目は「価格」が91%で最も高い。以下「最寄り駅からの時間」(85%)、「住戸の広さ」(71%)などが続く。重視項目の順位はほぼ2015年と同じで、スコアもほとんど変化はみられない。
- ◇ 購入物件所在地別にみると、東京都下では「住戸の向き」「周辺環境」「地縁のあるエリア」、埼玉県では「最寄り駅からの時間」が、それぞれ全体に比べ高い。
- ◇ ライフステージ別にみると、シングル世帯と夫婦のみ世帯で「通勤アクセスの良いエリア」の重視度が全体に比べ高い。ほか、シングル女性世帯では「間取りプラン」「住戸の設備・仕様」「耐久性・構造」、子供あり世帯では「教育環境」、シニアカップル世帯では「住戸の向き」「生活環境」「売主の信頼度」「施工会社の信頼度」「管理会社、管理内容、アフターサービス」が、それぞれ全体に比べ高くなっている。

■購入重視項目(全体、無回答を除く／複数回答)

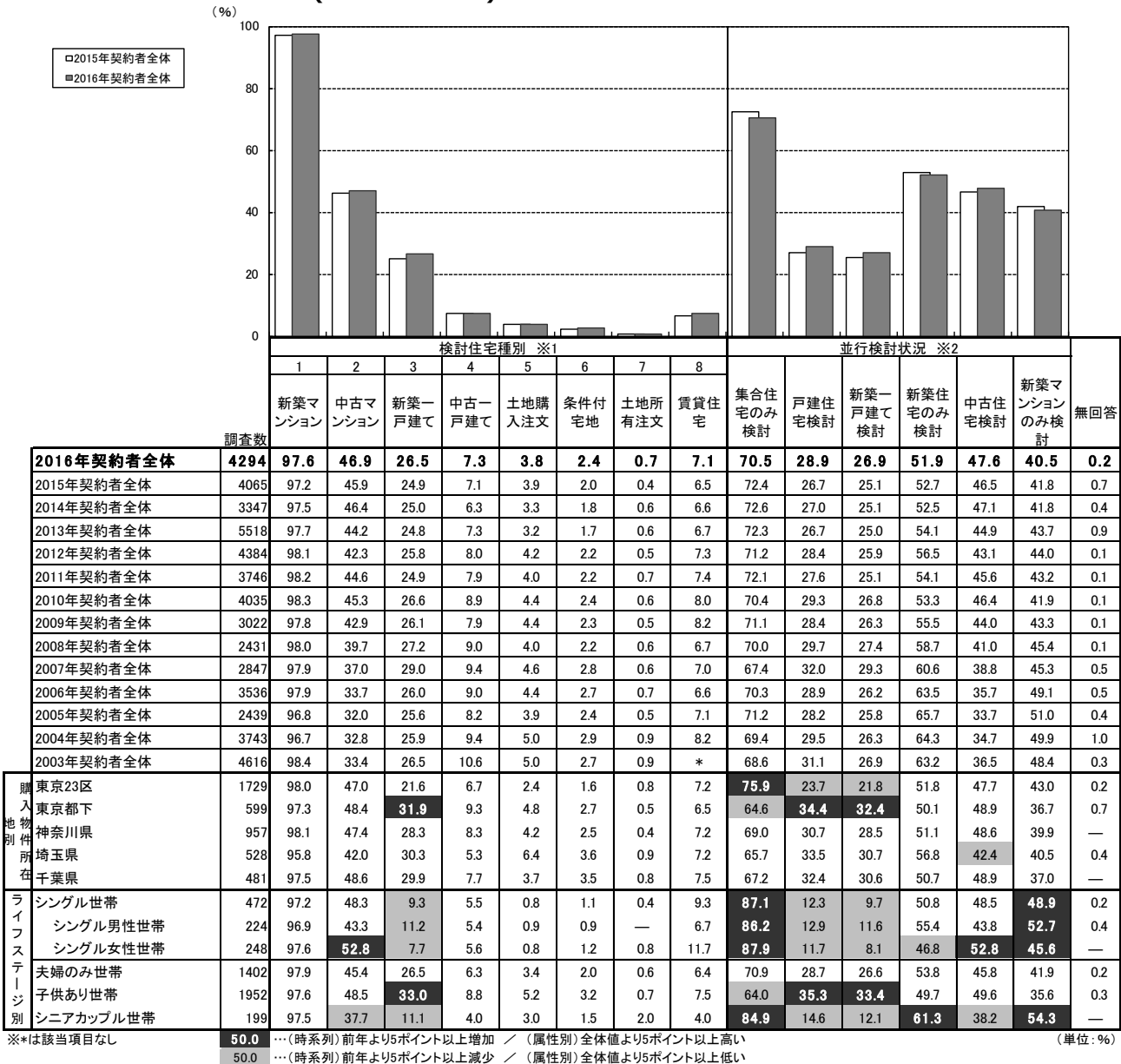


※購入重視項目は2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

● 中古マンションとの並行検討者は全体の47%

- ◇ 具体的に検討した住宅の種別をみると、新築マンション以外では「中古マンション」が最も多く、47%。「中古マンション」の検討率は2003年以降増加傾向にあり、今回はこれまでで最も高い。また、並行検討状況を見ると、「新築住宅のみ検討」「新築マンションのみ検討」の割合は2003年以降で最も低くなっている。
- ◇ 購入物件所在地別にみると、東京都下では「新築一戸建て」の検討率が全体に比べ高い。
- ◇ ライフステージ別にみると、シングル女性世帯は「中古マンション」の検討率が全体に比べ高く、5割を超える。ほか、子供あり世帯では「新築一戸建て」の検討率が全体に比べ高い。

■ 具体的に検討した住宅種別(全体/複数回答)



※*は該当項目なし
 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い
 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い (単位: %)

※1 <検討住宅種別について>

新築マンション契約者が、具体的に検討した住宅を種別ごとに集計(選択肢の文言に関する補足)

5「土地購入注文」	建築条件なしの土地を購入して注文建築
6「条件付宅地」	建築条件付の土地*を購入して注文建築(*施工会社があらかじめ決まっている土地)
7「土地所有注文」	所有している土地に注文建築
8「賃貸住宅」	2004年契約者から選択肢を追加

※2 <並行検討状況について>

新築マンション契約者が、並行して検討した住宅の分野ごとに集計

(分野に関する補足: 賃貸住宅を除く検討住宅種別(1~7)の選択状況によって、下記の通り分類)

集合住宅のみ検討	1または2に○、3~7のいずれも×
戸建住宅検討	3~7のいずれかに○
新築一戸建て検討	3または6に○
新築住宅のみ検討	1、3、5、6、7のいずれかに○、2、4のいずれも×
中古住宅検討	2または4に○
新築マンションのみ検討	1のみに○、2~7のいずれも×